

## 「ゲームプロゼミ」(高橋順子ゼミ) ゼミ生の声

2017年度ゼミ生 15JC1036 大熊 俊祐

私がこのゼミを選んだ理由は、最終課題であるオリジナルなゲーム作品の制作がとても魅力的に感じたからです。そもそもコンピュータを使うことが好きであり、情報処理3やコンピュータリテラシー研究といった講義を通してプログラミングに興味がわきました。自分の発想を、プログラミングを通してゲームという形に出来るゼミはここしかないと思い、このゼミに入りました。

今年度のゼミの活動としては、ゲームエンジン「Unity」を使い、ゲーム制作を通して C#言語や JavaScript 言語のプログラミングを学んでいます。この Unity というゲームエンジン、ゲームが好きな方は恐らく聞いたことがあると思います。Unity はゲーム制作をする上で非常に便利な機能を備えており、初心者でも本格的なゲーム制作に挑戦できます。また、ゼミの進行も、最初は教科書の内容に沿って初歩的なところから始まるため、きちんと段階を踏んで学習することが出来ます。プログラミングと聞くと難しい印象を受けるかもしれませんが、内容自体は丁寧に進んでいくため、不安に思う方も安心してゼミに参加していただければと思います。

夏にはゼミ合宿も行っており、今年は静岡県伊東に行きました。宿は食事もおいしく、温泉や足湯などもあり、とてもゆったり出来ました。2日目の午後と3日目の最後には伊東周辺の観光に出かけ、城ヶ崎海岸や伊豆シャボテン動物公園に訪れたりもしました。観光先は自分たちで決めるため、話し合ってみんなで観光ルートを決めるのも楽しいと思います。ゼミ合宿中の勉強では、より実践的なゲームの制作法を学び、現在はここで学んだことを参考に最終課題の制作に取り組んでいます。

普段生活する中で、特に文系の皆さんは触れる機会の少ないプログラミングですが、このゼミでは初歩的なことから学ぶことが出来るため、プログラミング初心者でも問題なく参加できます。逆に言えば、文系でプログラミングを学ぶ数少ないチャンスとも言えます。少しでも興味がある、若しくはパソコンをいじるのが好きな方は、このゼミに参加することをぜひ検討してみてください。

↓城ヶ崎海岸観光時の写真、左の写真の左から二見太喜・川崎隆弘・大熊俊祐

